

大型連休を控えた感染拡大防止に向けた市長メッセージ

新年度がスタートして、これからは過ごしやすい季節となり、行楽などにより人の移動が増加する時期になります。また学校や職場などでも様々な場面で、人と接触する機会も増え、オミクロン株も「B A. 2」へ置き換わるなど、全国的に感染者が増加傾向です。

県内の状況は、第5波では陽性者が約9,600人で、重症化率0.56%、死亡者32人で死亡者率0.33%でしたが、第6波では、陽性者は6万人を超えるなかで、重症化率0.04%、死亡率0.017%とそれぞれ第5波に比べて減少していますが、104人の方が亡くなっており死者数は3倍に増えております。

高山市においても、1月以降1,800人近い方が感染され、家族や職場の同僚など接触者となられた方も含めて、多くの方が療養されたり、仕事を休まれたり社会活動に影響が出ています。

特に保育園・幼稚園の園児や小中学校の児童生徒などを含む20代以下の若い方の感染が半数以上を占めており、家庭内で感染が拡大している状況となっています。

3月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、コロナに対して、症状も「ただの風邪程度、重症化しない」、だから「感染対策もあまり行わなくてもいい」、という気の緩みが懸念されます。

大型連休を控え、今後、社会経済活動を止めることなく、また命を守り、健康を守るためには、一人ひとりがリスクを避ける意識を持って行動することが非常に重要です。

市民の皆様には感染拡大防止のために、次のことに心がけた行動をお願いいたします。

- ・大型連休中は人の移動が増加します。混雑した場所への外出時は、マスク着用や手洗い、消毒などの基本的な感染防止対策を徹底し、体調が悪い時は無理をせず休みましょう。
- ・家庭内では、大人から子どもへ、子どもから大人へといった感染が多く確認されています。風邪の症状などがある場合は、家族と一緒に食事をしない、寝室を分けるなどの対策をし、家庭内での感染拡大を防ぎましょう。
- ・大人数や長時間に及ぶ飲食は感染リスクが高まります。マスク会食を徹底し、できるだけ少人数、短時間で済ませましょう。また、お店を利用する際は、感染対策に取り組んでいる「ミナモステッカー」が貼ってあるお店を利用しましょう。

最後にワクチン接種です。現在の高山市の接種状況は、接種券を送付した約80%の方が3回目の接種をされています。年齢別では、高齢者は90パーセントで、年齢が下がるにつれて、徐々に接種率が下がっており、先ほどのコロナの感染状況と反対の状況となっています。

ワクチン接種は、感染拡大防止や重症化リスクを下げる効果が期待できます。様々な情報が出回っていますが、情報源を確認いただき、ご理解の上で希望される方は3回目接種を行いましょう。

令和4年4月28日

高山市長 國島 芳明